

令和7年度
公益財団法人日立市民科学文化財団
事業計画書

令和7年度 公益財団法人日立市民科学文化財団 事業計画

1 経営方針

令和6年度は、年間を通してほぼ計画通りに事業を進めることができ、日立シビックセンター及び日立・多賀市民会館の入館者数も、科学館「サクリエ」のリニューアル効果や大型商業施設「ヒタチエ」を核とした日立駅前の賑わいとも相まって、順調に推移しています。

令和7年度は、財団第2次基本計画（5か年）の最終年度として、計画に掲げた目標の達成に向け、さらなる事業展開に努めます。

日立シビックセンターにおいては、読売日本交響楽団演奏会、小林愛実ピアノリサイタルなど第一線のアーティストによる公演を行うほか、ひたち秋祭りでは、新たに本市出身の上妻宏光さんの監修によるステージを披露します。

昭和40年9月に開館した日立市民会館は、令和7年に60周年を迎えることから、市民をはじめ支えていただいた多くの方々への感謝を込めて、会館にゆかりのある出演者による記念コンサートや、これまでのあゆみを振り返る展示会などの記念事業を実施します。

科学館「サクリエ」は、平成2年12月に開館し、令和3年の展示フロアの全面的なリニューアルを経て、令和6年4月に累計入館者数350万人を達成しました。今後も、科学をひたちの新しい文化にすることをめざして、教育機関や企業・団体等との連携を図り、市内はもとより市外、県外に向けた広域的な広報活動を強化しながら、取組のさらなる充実と魅力アップに努めます。

指定管理期間の5年目を迎える日立シビックセンター及び日立・多賀市民会館の管理運営に当たっては、引き続き利用者の視点に立った良質なサービス提供に努めるとともに、アクシデントや非常時に対する危機管理体制を強化し、安全で安心して利用できる環境の整備を進めます。これらの取組をとおして、施設利用率のさらなる向上を図り、次期指定管理者の指定に向けて準備を進めます。

令和6年度に導入したインターネットチケット販売管理システムの運用を軌道に乗せ、チケット購入に係る利便性を高めるとともに、新たな広報媒体として、主な事業の年間ラインナップをまとめた広報紙を年度当初に発行することで、財団の多様な事業展開の周知を図り、参加者増、収益増につなげます。

財団の運営においては、令和8年度から5か年の第3次基本計画を策定します。第2次基本計画の検証を基に、アンケート調査により把握した市民意識やニーズを踏まえ、外部の専門家による助言も得ながら、今後の指針となる計画の策定を行います。

混沌とする社会情勢、厳しい経済状況にあっても、財団がこれまでに蓄積してきた知恵と経験を十分に生かしながら、科学、文化、芸術の振興を通して「心豊かなまちづくり」の実現に寄与できるよう、その責務を果たします。

第2次基本計画（令和3年度～令和7年度）における重点事項

- 1 子どもたちの創造力を育む取組
- 2 市民ニーズの多様化への取組
- 3 青少年・働き盛り世代のイベント参加者数増加をめざす取組
- 4 科学をひたちの新しい文化にするための科学館の取組

2 重点事項取組事業概要

【第2次基本計画（令和3年度～令和7年度）における重点事項及び施策】

（1）子どもたちの創造力を育む取組

施策：幼少期における新たな発見につながる体験の場をより多く提供

子どもたちが科学、文化、芸術を身近なものと感じ、その重要性を理解できる事業を質、量ともに充実させ実施します。

従来の鑑賞型事業に加え、体験型のワークショップ等を実施することにより、子どもたちの心に残る事業を展開します。



主な事業

公共ホール現代ダンス活性化事業

（8月、日立シビックセンター 多用途ホール）

令和5年度から7年度までの3年間にわたり採択を受けた一般財団法人地域創造との共催事業の最終年度として、現代的な技術や感覚で自由に表現するコンテンポラリーダンスの公演を実施します。歌やセリフとは異なる自己表現方法としてのダンスを子どもたちやその保護者を対象に届けます。

バギーコンサート

（6月～3月、日立シビックセンター 多用途ホール）

乳幼児を持つ保護者が親子で気軽に音楽を楽しむことができるコンサートです。授乳やおむつ替えのためのスペースは参加者から好評を得ています。クラシック音楽の演奏だけでなく、音楽に合わせた読み聞かせやポップスなど幅広いジャンルのコンサートを提供します。

子ども向けシビックサロン

（8月・12月、日立シビックセンター 会議室ほか）

主に小学生とその保護者を対象に、和菓子づくりや生花をアレンジメントした作品制作など、芸術文化や日本の伝統文化を身近に感じることができる講座を開催します。多くの子どもたちが参加しやすいよう学校の長期休業日や土日祝日にあわせて実施します。

はじめての劇場体験☆本物のパントマイム

(11月、日立市民会館 ホール)

日立市内の幼稚園・保育園児を対象に、本物の音楽や演劇に触れる機会と、公共の場所でのマナーの大切さを学ぶ機会を提供します。

今回は、日本のパントマイムの第一人者、「カンジヤマ・マイム」による公演です。優れたステージを通して、子どもたちの感性を育む機会にします。

親子で打楽器体験会

(4月、日立シビックセンター 音楽室)

3回目の開催となる今年度から日立交響楽団打楽器パートとの共催で行う、小学校低学年を対象としたワークショップです。日立交響楽団が保有する普段見ることのないような多種の打楽器に触れることができ、親子で楽しめる体験会となっています。

アウトリーチ

(通年、市内小学校及び特別支援学校)

感性豊かな子どもたちが様々な科学、文化の楽しさに触れ、その魅力を知ることができるよう、専門家やアーティストを学校に派遣するアウトリーチプログラムに取り組みます。令和7年度は、音楽室コンサート、オーケストラ鑑賞会、演劇体験教室、能楽体験教室、科学体験教室、プログラミング体験教室の6つのプログラムを用意し、22校で実施します。

中高生のための音楽活動支援事業

(通年、日立シビックセンター 音楽ホール、日立市民会館 ホール ほか)

茨城県吹奏楽連盟県北地区との共催により、市内の中学校・高校の吹奏楽部員を対象に、自己練習が可能な活動場所と発表の場を提供します。吹奏楽を通して学校の垣根を越えた交流を創出するとともに、その成果を発表する機会を提供することで、若い世代の音楽活動の活性化を図ります。

宇宙少年団

(通年、日立シビックセンター 会議室ほか)

日本宇宙少年団日立シビックセンター分団は、将来、宇宙飛行士になることを目標とし、実験や工作、水ロケットの製作と打ち上げ、プログラミング体験、プラネタリウム解説体験や天体観察など、年間を通して様々な科学・天文体験を行います。

施設利用率・利便性の向上に関する取組

シビックセンターの休憩場所や授乳室などの運用を継続するとともに、夏季において新都市広場での噴水の稼働やテントの設置を行い、子どもたちや子育て世代がより快適に利用できる環境を整備・維持します。

また、記念図書館等の関係各所と連携し、子どもたちが夏休みに多様な体験を通して交流する場として定着してきた「夏のひみつ基地」を、7～8月にシビックセンターにおいて実施します。市民だけでなく、市外・県外からの帰省客や観光客が楽しめる空間を、施設全体を使って創出します。

(2) 市民ニーズの多様化への取組

施策：多種多様なジャンルの文化、芸術事業の提供

管理施設の規模や特性を活かしながら、ジャンルにこだわらず、人気のある優れた芸術の公演や、流行に合わせたワークショップ、講座事業を多く開催します。

来場者アンケート等の結果を検証し、的確なニーズの把握に努め、事業に反映します。



主な事業

読売日本交響楽団演奏会

(12月、日立シビックセンター 音楽ホール)

人気・実力共にトップクラスの日本を代表するオーケストラによるコンサートです。「クラシックの名曲プログラム」の演奏会を開催します。

近藤真彦コンサート〔日立市民会館開館60周年記念事業〕

(調整中、日立市民会館 ホール)

マッチの愛称で親しまれている、歌手、俳優、レーサー、タレントとしてマルチに活躍している近藤真彦のコンサートを開催します。年齢を感じさせないパワフルで華やかなステージを届けます。

小林愛実ピアノリサイタル

(2月、日立シビックセンター 音楽ホール)

2021年「第18回ショパン国際ピアノコンクール」第4位入賞を果たし、人気と実力を兼ねそろえたピアニスト小林愛実によるリサイタルです。コンクール入賞者の技術と表現が楽しめます。

みんなで楽しむオーケストラ

(2月、日立シビックセンター 音楽ホール)

茨城県にゆかりのある演奏家等で編成されたオーケストラ、イバラキ・ニューフィルハーモニックによるコンサートです。ピアノコンチェルトのほか、一般公募の合唱団との共演により、ベートーヴェン『第九』を演奏します。公益財団法人いばらき文化振興財団との共催事業です。

上妻宏光 生一丁

(3月、日立シビックセンター 音楽ホール)

日立市出身の三味線奏者上妻宏光による、津軽三味線の一流の技術と真髄である“生音”の響きを体感できるコンサートです。“生音”にこだわった「生一丁」公演は、平成13年から通算150公演を超えており、今回は2024～2025ツアーのファイナル公演を地元日立で開催します。

Civic Gallery 企画展

(2月、日立シビックセンター ギャラリー)

日立市出身の土面・水彩画家のあたかゆき氏と、同じくフォトグラファーの安宅真樹氏の兄妹による二人展で、似顔絵や人物写真など温かみのある作品を多数展示します。来場者が参加できるワークショップも開催します。

特別展示会（仮称）〔日立市民会館開館60周年記念事業〕

(9月、日立市民会館 会議室)

日立市民会館開館60周年を記念して、日立市民会館の歴史を振り返る展示会を実施します。開館当時の写真や思い出の品物などを市民から募り、展示します。併せて、バックステージツアーや結婚式場の再現など多種多様なイベントを実施します。

ひたち秋祭り

(10月、日立シビックセンター 新都市広場)

新たに、ふるさと日立大使を務める三味線奏者の上妻宏光氏が公演の監修を行います。保育園児や中学生をはじめとした市民による芸能発表のほか、地域に古くから伝わる芸能を継承する保存会や伝統芸能を現代風にアレンジした演奏を行うアーティストを招聘し、コラボレーションも含めたパフォーマンスを行います。

ヒタチスターライトイルミネーション2025

新都市広場冬季活用事業

(11～1月、日立シビックセンター 新都市広場ほか)

日立市の冬の風物詩として日立駅前地区周辺の彩りと賑わいを創出します。イルミネーションの鑑賞だけでなく市民が参加できる企画や、日立市が取り組む「脱炭素社会の実現」を取り入れ、環境に配慮したイルミネーションをめざします。

施設利用率・利便性の向上に関する取組

シビックセンターの一部施設を対象とした利用率向上の取組において、企業、検定団体、学校等への施設利用案内の配布や宣伝活動などの一定の効果が認められた取組を、日立・多賀市民会館においても同様に行い、施設利用率の更なる向上を図ります。

また、リモートワークや学習、食事など様々な目的で市民に利用され好評を得ているシビックセンター1階のフリースペースを引き続き運用します。通常の運用に加えて、ひたちこども芸術祭や日立市女性若者支援課の恋活応援事業など、各種事業の実施会場としても運用します。

(3) 青少年・働き盛り世代のイベント参加者数増加をめざす取組

施策：ライフスタイルに合わせたイベントの企画立案

各世代の趣向を把握し、ニーズに合ったイベントをより多く提供するとともに、青少年や働き盛り世代の余暇に合わせて、様々な形式・場所で科学、文化、芸術を体験できる機会を提供します。



主な事業

#CivicFirstNote

(9月、日立シビックセンター 多用途ホール)

音楽に関心が高い働き盛り世代をターゲットに、現在注目されているアーティストを紹介する、来場者から好評のライブ企画です。

今回は、「Homecomings(ホームキングス)」と「スカート」の2組による公演です。

記念コンサート(仮称)〔日立市民会館開館60周年記念事業〕

(10月、日立市民会館 ホール)

日立市民会館開館60周年記念事業として、日立市民会館を拠点に活動している団体を中心としたオムニバスコンサートを上演します。ひたちビッグバンドフェスティバルの特別編成バンド、日立市少年少女合唱団、日立市民吹奏楽団が、60周年を祝い、特別なひとときをお届けします。

おしゃべり音楽館〔日立市民会館開館60周年記念事業〕

(11月、日立市民会館 ホール)

ナビゲーター春風亭小朝の軽妙なトーク、小原孝の華麗なピアノ、島田歌穂の美しい歌声、おしゃべり音楽館ポップスオーケストラによる演奏で映画音楽の名曲の数々をお届けします。この公演は、令和7年度宝くじ文化公演事業として実施するもので、第二部には地元出演者として日立市少年少女合唱団も出演するなど、記念事業にふさわしい内容のコンサートです。

レッツ・プラス in パティオ

(5月、日立シビックセンター 新都市広場)

市内外から公募で集まった100人を超える吹奏楽愛好家による屋外での吹奏楽コンサートです。30回目を迎える今回は例年より規模を拡大して実施します。千葉県を拠点に活躍し、全日本吹奏楽コンクールで金賞受賞歴のある吹奏楽団「光ウインドオーケストラ」をゲストバンドとして招き、特別演奏のほか、市民参加者ともコラボレーションして会場を盛り上げます。

Civic Dance Fes.

(6月、日立シビックセンター 音楽ホール)

音楽ホールのステージを舞台にオールジャンルのダンスイベントを開催します。市内外から幅広い世代が集まり、日頃の練習の成果を披露し合いながら、ダンスを通して交流を図る祭典です。

【新】コーラスワークショップ

(11月～1月、日立シビックセンター 音楽室、音楽ホール)

令和8年2月に実施する「みんなで楽しむオーケストラ」への出演を目標に、初心者から経験者までを幅広く公募し、オーケストラ指揮者による全8回のコーラスワークショップを行います。公益財団法人いばらき文化振興財団との共催事業です。

大人向けシビックサロン

(7月・3月、日立シビックセンター 会議室ほか)

日常への文化的な彩りの提供と感性豊かな生活の一助となるよう、働き盛り世代を中心に、アートやビューティーなどを題材としたワークショップ等を実施します。

施設利用率・利便性の向上に関する取組

利用者からの様々な相談に応じ、より上質なサービス提供に努めるため、施設利用コーディネーター(※)を増員します。それにより、青少年や働き盛り世代による施設の利用を活発化させ、イベント実施、科学、文化、芸術活動の拡充につなげます。

また、その世代が、施設を活動拠点として積極的に利用できるよう、施設の新たな活用法を検討しながら、施設や設備の改善に努めます。

※…施設利用において、ある一定以上の知識と技術を習得し、財団内で認定を受けた職員

(4) 科学をわたちの新しい文化にするための科学館の取組

施策：遊びながら学ぶ科学館

入館者が、遊びながら学び、体験を通して発見した疑問や成果を持ち帰り、生活の中で科学を意識するきっかけを提供します。

科学の楽しさを増幅させるために、身近にある意外なものを利用した実験装置によるユーモアを含んだ体験に加えて、入館者と職員の交流に重点を置いてサービスを提供します。



主な事業

サクリエ・サイエンス・フェスティバル

(3月、日立シビックセンター 科学館)

子どもたちを中心として、サイエンスショーで行っている実験や天体望遠鏡の操作を体験するなど、従来の「観る」から「実体験する」をテーマとしたフェスティバルを実施します。近隣科学館や中学生・高校生によるブース出展も行います。

夏の特別イベント「科学 de 夏祭り」

(7～8月、日立シビックセンター 科学館)

夏祭りの遊びの要素を科学遊びに置き換えて体験してもらい、射的やスイカ割り、花火など、夏らしい楽しい雰囲気演出して、遊びの中にある科学を紹介します。

青少年のための科学の祭典・日立大会

(11月、日立シビックセンター マーブルホールほか)

科学やモノづくりに興味関心を持つ子どもの育成のため、青少年のための科学の祭典・日立大会実行委員会との共催により実施します。マーブルホール、広場、シビックセンター全館にわたって、各種団体や個人など約50の科学体験ブースを出展します。

科学体験事業

(6月～8月、日立シビックセンター 科学館ほか)

地元企業や団体等の専門家による科学体験教室やプログラミング教室を開催し、子どもから大人まで幅広い世代が科学をより身近に感じられる体験と発見の場を提供します。

サイエンスショー

(通年、日立シビックセンター 科学館)

「シャボン玉」や「風」など、日常生活の中にある様々な身近な現象を題材にして、科学を楽しみながら学べる実験ショーを毎日実施します。科学に対する興味関心を喚起するとともに、間近で繰り広げるダイナミックな実験で館内の雰囲気盛り上げます。

天球劇場星空解説・番組上映

(通年、日立シビックセンター 天球劇場)

約1,500万個の恒星を映し出す光学式プラネタリウムと宇宙シミュレーションソフトを使って星空と宇宙の解説を行います。美しい星空と壮大な宇宙の魅力を伝え、本物の星空を見上げるきっかけ作りを行います。

また、子どもから大人まで幅広い世代が楽しめる様々なプラネタリウム映像番組を上映するとともに、大人や幼児など対象を明確にした特別上映を行います。

ボランティア活動事業

(通年、日立シビックセンター 科学館ほか)

科学館、天球劇場の運営や入館者との交流などに興味のある市民を対象に、展示フロアでの案内や各種イベントにおいて幅広い世代が活躍する場を提供します。

施設入館者の増加に関する取組

団体との連携

日立市内を中心とした中学・高校・大学などの教育機関や企業等と連携します。茨城大学工学部との連携では、研究室で行われている研究内容を体験できるオープンラボなど、活動発表やイベントを実施することで入館者への新たなプログラムの提供や施設の有効活用を図ります。

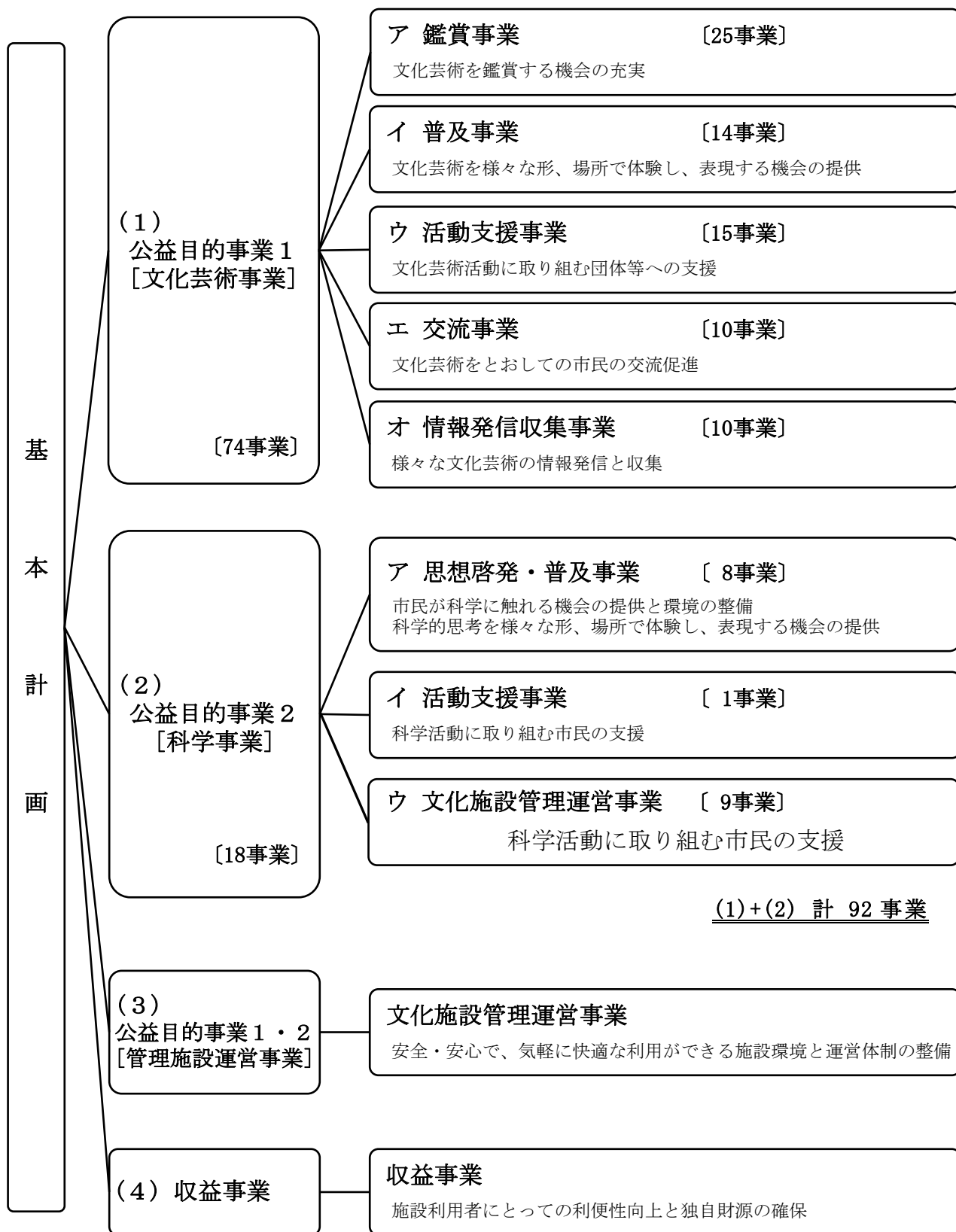
入館促進

日立市だけでなく、茨城県内や福島県を含む広域の学童クラブ、幼稚園、保育園、小学校などを対象とした来館誘致に取り組みます。

多くの方の入館促進を図るため、引き続き観光・宿泊施設等へのリーフレットボックスの設置を行います。また、地域のコミュニティやPTA等の団体に対して施設のPRを行うことで、科学館・天球劇場利用のきっかけ作りに努めるとともに、より一層のリピーターの獲得を図るため、子ども向けのスタンプラリーなどを行います。

3 事業概要

第2次基本計画で定めた事業の体系



(1) 公益目的事業 1 [文化芸術事業]

文化芸術振興及び市民交流活性化事業の実施、並びに文化施設を管理運営する事業

地域の文化活動の拠点施設である日立シビックセンター、日立市民会館及び多賀市民会館を中心に、文化芸術を鑑賞、体験する機会の提供、文化芸術を通じた市民との協働、交流促進を図ることにより、市民の豊かな人間性を涵養し、地域の文化芸術の振興、交流人口の拡大等、地域の健全な発展に寄与すべく事業を実施します。

ア 鑑賞事業

施策 文化芸術を鑑賞する機会の充実

世代ごとのニーズに合わせた多様なアーティストによるコンサートや舞台公演、アートなど鑑賞の機会を提供します。クラシック音楽はもとより、軽音楽、寄席、ダンスなど、バラエティ豊かな公演を実施します。

【事業一覧】

事業名	時期	備考
日立シビックセンター		
公共ホール現代ダンス活性化事業	8月	共催:地域創造
ワンコインコンサート	8月ほか	
ひたち納涼寄席	8月	
#CivicFirstNote	9月	
読売日本交響楽団演奏会	12月	
みんなで楽しむオーケストラ	2月	共催:いばらき文化振興財団
Civic Gallery 企画展	2月	
小林愛実ピアノリサイタル	2月	
上妻宏光 生一丁	3月	
日立市民会館		
林家たい平、桂宮治二人会 [60周年事業]	4月	
特別展示会 (仮称) [60周年事業]	9月	
クレイジーケンバンドコンサート [60周年事業]	10月	
記念コンサート (仮称) [60周年事業]	10月	
おしゃべり音楽館 [60周年事業]	11月	令和7年度宝くじ文化公演事業
はじめての劇場体験☆本物のパントマイム	11月	
渡辺美里コンサート [60周年事業]	11月	
半崎美子コンサート	11月	
劇団飛行船マスクプレイミュージカル	12月	
近藤真彦コンサート [60周年事業]	調整中	
共催コンサート	調整中	
共催コンサート (子ども向け) [60周年事業]	調整中	
多賀市民会館		
かどや寄席	6月	

イ 普及事業

施策 文化芸術を様々な形、場所で体験し、表現する機会の提供

子どもだけでなく、大人も身近な場所で文化芸術に触れ、体験できるよう、各種団体等と連携し、財団ならではの講座、ワークショップ、アウトリーチ事業等を実施します。

【事業一覧】

事業名	時期	備考
日立シビックセンター		
親子で打楽器体験会	4月	共催:日立交響楽団打楽器パート
はじめてみよう弦楽器	5～3月	
バギーコンサート	6～3月	3回実施
音のまちコンサート vol.7	6月	日立駅展望イベントホール
大人向けシビックサロン	7月・3月	3回実施
子ども向けシビックサロン	8月・12月	2回実施
コーラスワークショップ	11～1月	全8回
アウトリーチ	通年	市内小学校 ほか
郷土芸能育成事業	通年	
日立市民会館		
文化サロン [60周年事業]	調整中	
多賀市民会館		
ギャラリーコンサート	11月	
演劇アウトリーチ	調整中	市内小学校

ウ 活動支援事業

施策 文化芸術活動に取り組む団体等への支援

市民による文化芸術活動を様々な形で支援し、市民が活躍する場を広げます。特に若者や学生の発表の場の提供や、愛好者育成、団体運営などへの幅広い支援を行い、各々の文化活動を促進します。

【事業一覧】

事業名	時期	備考
日立シビックセンター		
レッツ・ブラス in パティオ	5月	
Civic Dance Fes.	6月	
ミュージックトレイン 2026	1月	
中高生のための音楽活動支援事業	通年	
ひたちジュニア弦楽合奏団	通年	
ひたち市民オペラによるまちづくりの会	通年	
市民のための能を知る会実行委員会	通年	
日立市文化協会事務局	通年	
日立市文化少年団事務局	通年	
ひたちとアジアの文化交流をすすめる会	通年	

事業名	時期	備考
日立市民会館		
ひたち BigBand フェスティバル	5月	
日立市少年少女合唱団	通年	
多賀市民会館		
ひたち街角小劇場	5月・9月・3月	
ピッピコンサート	8月	ピッピスタッフの会設立 40周年記念
日立市民劇「石のこえ・みらいのまち」	2月	主催:ひたち市民シアター 実行委員会

エ 交流事業

施策 文化芸術をととしての市民の交流促進

日立シビックセンター新都市広場、アトリウム、多賀市民プラザ広場など、オープンスペースで多くの人々が交流できる機会を創出します。また、引き続き、市や関係各所と連携し、日立駅前地区活性化のため、広場を中心に賑わい創出につながる事業を展開します。

【事業一覧】

事業名	時期	備考
日立シビックセンター		
ひたち国際大道芸 2025	5月	JR日立駅前、常陸多賀駅前
夏のひみつ基地	7～8月	
ひたち秋祭り	10月	
ひたち国際文化まつり	10～11月	
ヒタチスターライトイルミネーション 2025	11～1月	
新都市広場冬季活用事業	11～1月	
ニコ・カーニバル	12月	
シビック・エントランスピアノ	通年	
管理施設賑わい創出事業	通年	
多賀市民会館		
多賀市民プラザ広場活用事業	7～8月	

オ 情報発信収集事業（文化芸術・科学共通）

施策 様々な文化芸術の情報発信と収集

ホームページをはじめ、SNS など多様な媒体を最大限に活用し、分かりやすく、効果的な情報発信に努めるなど広報の強化を図ります。また、引き続きシビックメンバーズの会員加入促進に努めます。

令和6年度に導入したインターネットチケット販売管理システムの運用を軌道に乗せ、購入場所や時間の制約を受けずにチケットを購入できるなど顧客サービスの向上を図るとともに、販売状況の管理や集計などチケット管理業務のさらなる効率化を進めます。

また、新たな広報媒体として、主なイベント等の年間ラインナップをまとめた広報紙を年度当初に発行することで、早期にイベントの周知を図り、参加者増、チケット売上増に繋がります。

【事業一覧】

事業名	時期	備考
カレンダー「ふるさと日立」	11月	
定期発行物「ひたちの文化」	通年	
定期発行物「イベントインフォメーション」	通年	ラインナップ広報紙含む
広報・宣伝	通年	
Webサイト運用	通年	
シビックメンバーズ	通年	
企画調査	通年	
インターネットチケット販売管理システム	通年	
書籍販売	通年	
県北地区文化会館交流事業	調整中	

【特記事項】 日立市民会館開館60周年記念事業

日立市民会館が開館60周年を迎えるに当たり、公演、展示、講座事業等を記念事業として実施します。

有名アーティストの公演はもとより、日立市民会館にゆかりのある楽団・団体等によるコンサートなどを実施します。

〔事業一覧〕

	事業名	時期	備考
公演事業	林家たい平、桂宮治二人会	4月	
	クレイジーケンバンドコンサート	10月	
	記念コンサート（仮称）	10月	
	おしゃべり音楽館	11月	
	渡辺美里コンサート	11月	
	近藤真彦コンサート	調整中	
	共催コンサート（子ども向け）	調整中	
展示事業	特別展示会（仮称）	9月	
講座事業	文化サロン	調整中	
その他	定期発行物「ひたちの文化」	8月	

(2) 公益目的事業2 [科学事業]

科学思想の啓発及び普及事業の実施、並びに科学施設を管理運営する事業

科学館・天球劇場の管理運営に併せ、科学・天文に関する各種事業を展開することにより、科学的な思想の啓発・普及や活動支援を図ります。

特に、科学館サクリエにおいては、「遊びながら学ぶ施設」をテーマに、来館者が遊びや体験を通して発見した疑問や成果を持ち帰り、生活の中で科学を意識するきっかけを提供する施設をめざすとともに、科学体験を通して学ぶことのできる企画を提供します。

ア 思想啓発・普及事業

施策

市民が科学に触れる機会の提供と環境の整備

科学的思考を様々な形、場所で体験し、表現する機会の提供

科学・天文を身近に感じてもらえるように、科学を意識するきっかけを提供し、来館者との交流を重視した展示案内に努めます。サクリエ・サイエンス・フェスティバルや科学体験教室を実施することにより、科学を体験できる場を提供し、科学の普及・啓発に努めます。

【事業一覧】

事業名	時期	備考
科学館		
科学体験事業	6～8月	3回実施
サクリエ・サイエンス・フェスティバル	3月	
宇宙少年団	通年	
アウトリーチ 出張サイエンスショー	通年	市内幼稚園・保育園 ほか
アウトリーチ 科学教室	通年	市内小学校 ほか
天球劇場		
近代プラネタリウム誕生 100年 KAGAYA 星空写真展	4月	R6年度継続事業
天文啓発・普及事業	8月	天体望遠鏡作りと観察
アウトリーチ 出張スターウォッチング	通年	市内交流センター ほか

イ 活動支援事業

施策

科学活動に取り組む市民の支援

青少年の科学・天文の発見の場を提供するため、市民による科学・天文活動を引き続き支援します。

【事業一覧】

事業名	時期	備考
科学館		
青少年のための科学の祭典・日立大会	11月	

ウ 施設管理運営事業

施策 安全・安心で、気軽に快適な利用ができる施設環境と運営体制の整備

季節に合わせた特別イベントを実施するなど、引き続き、幅広い世代を対象としてイベントを実施するとともに、科学館・天球劇場の魅力向上をめざして多くの人に科学に親しんでもらえるような事業を展開します。

【事業一覧】

事業名	時期	備考
科学館		
夏の特別イベント「科学 de 夏祭り」	7～8月	
冬の特別イベント	11～1月	
特別イベント「ミニ企画展示」	通年	
ボランティア活動事業	通年	
ひらめき工作	通年	

(3) 公益目的事業 1・2 [管理施設運営事業]

公共施設の管理運営事業

管理施設運営事業では、市民の要望に沿ったサービスの提供と、安全・安心で快適な環境づくりを行います。

文化施設管理運営事業

施策 安全・安心で、気軽に快適な利用ができる施設環境と運営体制の整備

利用者の利便性を考慮したサービスの提供に努め、リピーターの促進及び新規利用者の獲得をめざします。あわせて、利用者が安心して施設を利用できるよう、主要施設ごとの各種訓練を実施するなど、アクシデントや非常時に対する危機管理体制の強化に努めます。

また、来館者が自由に利用できるフリースペース（シビックセンター1階）の快適性向上に努めます。

科学館入館促進では、茨城県内全域や福島県の小学校等への広報を強化し、入館者増を図るとともに、教育機関や企業等と連携したプログラムを提供していき、日立のまちの特性を活かした新しい魅力を提供していきます。

【事業一覧】

事業名	時期	備考
日立シビックセンター		
日立シビックセンター管理運営事業 (新都市広場、マーブルホールを含む)	通年	
アトリウム装飾	通年	
夏期親水	7～9月	
科学館管理運営事業	通年	
サイエンスショー	通年	
入館促進	通年	
団体連携	通年	
天球劇場管理運営事業	通年	
星空解説	通年	
番組上映	通年	
特別上映	通年	アロマプラネタリウム ほか
観望会	通年	
日立市民会館		
日立市民会館管理運営事業	通年	
多賀市民会館		
多賀市民会館管理運営事業	通年	

(4) 収益事業

公共施設に付帯する売店等の管理運営事業

来館者の思い出に残る商品の販売等を通して、施設利用のみにとどまらない楽しみを提供します。

チケット販売事業においては、自主企画事業のチケットだけではなく、受託チケットを販売することで、他館のイベントチケットを購入できるなど利便性を向上させます。

採算性を向上することで得た収益を、自主企画事業に充当します。

ア 館内売店運営事業

施策 施設利用者にとっての利便性の向上と独自財源の確保

ミュージアムショップにおいては、来館者が興味を持つ商品構成を基本として安定的な経営に努めます。

新規仕入業者の開拓を進め、品揃えの強化や、リピーターの確保に努めるとともに、オリジナル商品の販売や新たな商品の開発、各種事業関連商品の販売や季節に合わせた販促イベントなども実施し、新規顧客の獲得もめざします。

【事業一覧】

事業名	時期	備考
日立シビックセンター		
館内売店運営事業	通年	ミュージアムショップ

イ チケット販売事業

施策 施設利用者にとっての利便性の向上と独自財源の確保

日立シビックセンターチケットカウンター、日立市民会館及び多賀市民会館において、自主企画事業チケットに加え、受託チケットの販売業務を行います。

【事業一覧】

事業名	時期	備考
日立シビックセンター、日立・多賀市民会館		
受託チケット販売事業	通年	

(5) その他の事業

公共施設の公益目的外貸与事業及び併設施設の管理経費負担に関する事業

ア 公益目的事業1及び公益目的事業2に当てはまらない公共施設の公益目的外 の貸与事業

管理施設の有効活用のため、企業の展示販売会等の公益目的以外の利用についても、積極的に施設の貸与を行い、利用率の向上を図ります。

イ 他の併設施設の専用部分、共用部分に係る清掃及び設備機器の維持管理経 費の負担に関する事業

併設施設に係る維持管理経費（光熱水費を除く）について、当財団が業者と一括して契約し、面積及び設備按分により応分の費用負担とします。

【事業一覧】

事業名	時期	備考
公益目的外貸与	通年	
併設施設管理運営負担金に関する事業	通年	

(6) 法人運営

法人の運営に関する事業

第2次財団基本計画に基づいて実施してきた各種事業を検証し、将来を見据えた事業展開をしていくため、第3次基本計画を策定します。

また、指定管理期間の最終年度となるに当たり、指定管理者として、施設の設置目的の達成等を再確認し、その責務を果たすとともに、次期指定管理期間の開始年度となる令和8年度に向け、指定を受けるべく準備を進めます。

組織運営に当たっては、管理職員のマネジメント力の強化をはじめとした人材育成と、ICTを利活用した業務の効率化及びワークライフバランスの推進に努めます。